

当科は、従来放射線科として活動しておりましたが、今年度5月より放射線治療科と名前を変えて活動しております。医師は池田 光、堀 正和の2名で、徳重係長を中心に5名の診療放射線技師にて、リニヤック2台を用いて診療活動をしております。近年、放射線治療に対する社会の理解がすすみ、新患数はグラフの如く、年10%を超えて増加しております。何より幸いなことは地域の医療機関からご紹介いただいた患者さんの割合が、70%を超えていることであります。その比率は年毎に上昇をみており、本当に、地域の諸先生方のおかげと感謝申し上げる次第です。

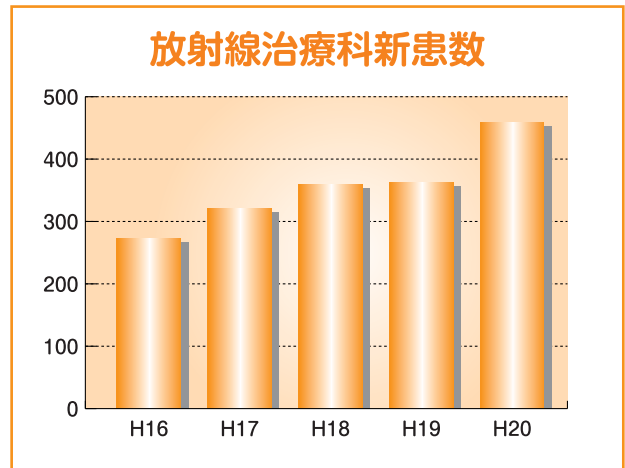


## 緊急照射も対応可能な体制

放射線治療用の病床としては、一日平均24名の患者さんが入院され、北海道がんセンター、札幌医大の次に病床が確保されており、下肢の対麻痺、上大静脈症候群などの緊急照射が必要な症例にも、転院の上治療が可能となっております。

当科での主な疾患としましては、乳癌温存照射、頭頸部癌、肺癌等を中心に、言葉の如く、頭の前から足の先までのあらゆる疾患への放射線治療を施行しております。また入院患者さんを中心に、化学療法との同時併用を頭頸部癌、消化器癌 肺癌、婦人科腫瘍等に対し、他科と連携し積極的に施行しております。

これらから消化器癌、頭頸部癌、肺癌等にて、良好な成績が徐々に示され、意を強くしております。



## 最新・最良の治療の提供をめざす

また治療症例は、ケロイドを除き、全例癌症例であるため、将来への不安、病状への不安等を強くかかえており、病棟でのカンファレンスはもとより、目の充分届きにくい外来治療の患者さんにつきましても、診療放射線技師、外来看護師、医師とのカンファレンスを施行し、患者さんが少しでも、安心して、最良の治療が受けることができるよう心掛けております。

根治治療はもとより、姑息的治療等におきましても、ご相談、ご紹介をお待ちしております。ご紹介いただいた症例、1例1例に最善の治療を施行し、ご期待に沿えるよう頑張っていきたいと考えております。

